

江戸川区立東葛西小学校 特別活動全体計画

学校教育目標 学校教育目標（◎は重点目標） ・やさしい子 ・やりぬく子 ◎元気な子	特別活動の目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
--	---

各教科等との関連 国語：話し合い活動の習熟や言語活動のスキル 算数：「教え合い」を取り入れた学習形態の習熟 道徳：社会的に必要な道徳的实践力の育成。他者理解、思いやりなど観点に応じた取り組み 総合的な学習：キャリア形成 他者との関わりの重視。 音楽・図工・体育・学校行事との関連 など	本校の指導の重点 ○望ましい集団活動を基に、特質をふまえた多彩な活動を通して、個性の伸長を図り、協力して、自発的・自治的な活動を展開する。 ○児童会活動、クラブ活動、異学年交流活動、学校行事を通して、意図的・計画的に異学年との交流を深め、望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 ◎活動のめあてを立て、振り返り、自己有用感、自己の成長、集団の成長や支持的風土の高まりを涵養する。
--	---

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員とし学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	
学年ごとの目標 1、2年：学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。 3、4年：学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくるとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。 5、6年：学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。	指導の重点 1 児童の自発的・自治的な活動を重視し、協力して学級生活を楽しく向上させていく。 2 自分のめあてをもち、自ら高めていこうとする態度や互いを認め合う心情を養う。 3 あいさつ等の人間関係の伸長に関わる基本的な生活習慣を形成する。
内 容 (1)学級や学校の生活づくり ・学級会(話し合い活動・学級集会など)・係活動・多様な集団活動 (2)日常の生活や学習への適応及び健康安全 ア 基本的生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成 エ 食育の観点をふまえた学校給食と望ましい食習慣の形成 ☆学級経営の充実を図り、個々の児童についての理解を深め、児童との信頼関係を基礎に指導を行う。 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	時数の配当 ・毎週1単位時間を基本とする。 ・年間35単位時間以上 (1年生は34時間以上) ・各学年の配当時数例 1年 (1)16以上 (2・3)18 2年 (1)22以上 (2・3)13 3年 (1)25以上 (2・3)10 4年 (1)26以上 (2・3)9 5年 (1)28以上 (2・3)7 6年 (1)28以上 (2・3)7 ・(2)の指導については、内容に応じて他の授業時間、当番の時間等に15分程度の指導も可能。 ・朝の会や帰りの会などにも関連した指導を行う。
道徳との関連 低学年：B(9) 友達と仲よくし、助け合うこと。 C(14) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。 中学年：B(9) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。 C(15) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。 高学年：B(10) 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。 B(8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。 C(16) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	
評価 ・学級活動の各学年の目標に対応し、児童の実態をふまえた評価の観点を設定する。計画・活動・振り返りの一連の過程の中でそれぞれの評価をする。(話し合い活動・めあてカード・振り返りカード・観察・記録ノートなど) ・個人のよい点や進歩の状況及び集団の成長点も評価していく。 ・教師による評価の他に、自分の成長や自己有用感が実感できるような自己評価や互いに認め合える相互評価を取り入れる。	

児童会活動 児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	
内 容 (1)児童会の計画や運営(代表委員会活動、委員会活動、児童会集会活動) 委員会活動：代表、集会、放送、図書、エコ、保健、運動、給食、情報、美化 児童会集会活動：1年生を迎える会、6年生を送る会、各委員会発表 など (2)異年齢集団による交流：たてわり班活動、お別れ給食など (3)学校行事への協力：運動会、周年行事、音楽会 など	時間の設定 委員会活動：月1回(月曜日) その他常時活動 児童集会活動：児童集会 水曜日

指導の重点 1 教師の適切な指導の下に、児童の自主的・実践的な活動が展開できるようにする。 2 高学年児童を中心とし、学校生活の向上や全校児童の意向を考え、自主的・自治的な活動が推進できるようにする。
評価 ・児童会活動の目標に対応し、児童の実態にふまえた評価の観点を設定し、計画・活動・振り返りの一連の過程の中でそれぞれの評価をする。(話し合い・目標(めあて)カード・振り返りカード・観察・記録ノートなど)。 ・活動時間ごとに振り返りの時間を設定し、次の活動へとつなげていけるように評価する。 ・教師による評価の他に、自分の成長や自己有用感が実感できるような自己評価や互いに認め合える相互評価を取り入れる。

クラブ活動	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的・実践的な態度を育てる。
内 容 名称仮 設置クラブ：卓球、野球、室内スポーツ、外スポーツ、外球技、手芸 科学、パソコン、音楽、室内遊び、イラスト・マンガ 参加学年：4年生以上 (1)クラブの計画や運営 ・学期ごとに第1回目のクラブ活動の日に児童が活動計画を立てる。 ・必要なときごとに成員が集まり、話し合いを行う。 ・運営は、教師の適切な指導の下、児童の話し合いによって行われる。 (2)クラブを楽しむ活動 ・活動計画に基づき、教師主導ではなく、クラブ長をはじめ6学年児童を中心に行う。 (3)クラブの成果の発表 ・クラブ発表、クラブ見学	指導の重点 1 異年齢集団での交流を深め、児童の自発的、自治的活動が展開できるようにする。 2 児童の活発な話し合いによって、創意工夫ある活動を楽しみ、協力し合って進める。 時間の設定 ・月曜日 6校時 ・年間11回程度設定する。 4月 第1回 活動計画の設定、役割分担 12月 クラブ見学・クラブ発表準備 1月 クラブ見学 3月 新クラブの設定及び所属の決定
評価 ・クラブ活動の目標に対応し、児童の実態にふまえた評価の観点を設定し、計画・活動・振り返りの一連の過程の中でそれぞれの評価をする。(話し合い・めあてカード・振り返りカード・観察・記録ノートなど) ・活動の時間ごとに振り返りの時間を設定し、次の活動へとつなげていけるように評価する。 ・教師による評価の他に、自分の成長や自己有用感が実感できるような自己評価や互いに認め合える相互評価を取り入れる。	

学校行事	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
内 容 (1)儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式など (2)文化的行事：音楽会、クラブ発表 など (3)健康安全・体育的行事： 健康診断、避難訓練、安全指導、交通安全教室、自転車教室、 防犯教室、運動会、着衣泳、水泳記録会、体力テストなど (4)遠足・集団宿泊行事：遠足、自然宿泊体験教室 (5)勤労生産・奉仕的行事：大掃除、栽培活動	指導の重点 ☆各行事の特質をふまえ、行事ごとに設定する。 共通：他者と力を合わせて取り組み、学校生活に満足感や充実感、安心感を 感じさせるようにする。 時間の設定 行事ごとに指導計画を作成し、指導内容の精選・重点化、他教科・領域との関連を図り計画的に取り組んでいく。
評価 ・行事ごとに評価の観点を設定し、適時評価していく。(観察、めあてカード、振り返りカード、話し合いなど) ・行事によっては、計画・活動・振り返りの一連の過程の中でそれぞれの評価をしたり、自己評価、相互評価を取り入れたりする。	

たてわり班活動	・たてわり班を通して、異学年の子供たちが交流を深め、学校への所属意識を高め連帯感を育む。 ・たてわり班で協力しながら活動を楽しみ、その活動を通して自主性と実践的な態度の育成を図る。
組織 ・各学年を12×4(A・B・C・D)＝48グループに分ける。 ・担当者は、1人2班を受け持つ。 ・要配慮児童の担当は、新年度の組織を考慮して決定する。 ・たてわり企画委員会を組織する。	配慮事項 ・各班の人数や男女が偏らないようにする。 ・兄弟姉妹は、同じ班にならないようにする。
内容 ・5月に準備を完了し、6月に班編成を行う。 ・毎回「振り返り」をする。(班長のみカードに記入) ・たてわり班遊び ・その他(たてわりお別れの会など)	時間の設定 ・毎月1回程度(昼休み・清掃の時間)は設定する。 ・企画委員会を事前に開く。 ※必要に応じて班長会議を行う。
評価 ・たてわり活動の目標に対応し、児童の実態にふまえた評価の観点を設定し、計画・活動・振り返りの一連の過程の中でそれぞれの評価をする。(話し合い・振り返りカード など) ・活動の時間ごとに振り返りの時間を設定し、次の活動へとつなげていけるように評価する。 ・教師による評価の他に、自分の成長や自己有用感が実感できるような自己評価や互いに認め合える相互評価を取り入れる。	